

第35回 岩手大学ESD銀河セミナー
Oボランティア活動に関するセミナー・シリーズ(2)



地域・学校・大学を結ぶ学生ボランティア
ーサービス・ラーニングによる高大連携ー

講師： 宮崎 猛 氏

(創価大学教職大学院准教授)



(講演内容)

近年、奉仕やボランティア活動を教育現場に積極的に取り入れる動きが世界的に広がっています。その背景には、若者の規範意識や対人関係能力、社会性などの不足が指摘されています。奉仕やボランティア活動は、そうした問題を解決する体験的学習につながるものとして、「サービス・ラーニング」という名称で様々な取組が展開されています。

ただし、ボランティア活動とは自発性に依拠するものである以上、その推進には十分な配慮が必要です。宮崎先生には、「奉仕」を教育に導入した都立高校の現状と問題点に触れていただいた上で、ご自身が進めておられる大学生と高校生が協働で作る「奉仕」の実践と意義について紹介していただきます。

【日時】： 2010年5月26日(水) 16:30~18:00

【場所】： 岩手大学図書館生涯学習・多目的学習室

【主催】： 大学教育総合センター

【主管】： 大学教育総合センター学生支援部門・環境人材育成プログラム

【対象】： 教職員・学生・一般市民

宮崎猛氏略歴：

創価大学法学部卒業後、青山学院大学大学院で国際政治学の修士号取得、早稲田大学大学院で教育学の修士号と博士課程単位取得。高校社会科教員を経て、創価大学教育学部准教授、平成20年より同大教職大学院准教授。

専門は、社会科教育、社会参加学習論、総合的な学習。業績に、「アメリカにおける『サービス・ラーニング』の動向と意義」『日本社会科教育学会誌』80号(1998)等がある。